

No.495

平成22年(2010年)

# 金武 広報



本日、平成二十二年度第二回金武町議会三月定例会の開会にあたり、提案しております平成二十二年度の予算をはじめ、諸議案の説明に先立ち、町政運営に対する所信を申し上げます。

## はじめに

平成22年第2回金武町議会3月定例会の冒頭、儀武剛金武町長が平成22年度の施政方針演説を行いました。以下、施政方針の全文を掲載します。



▲平成22年度の施政方針演説を行う儀武町長

## 平成二十二年度 施政方針

## 町政運営の基本方針

平成十四年四月に町民の皆様から負託を受け町長に就任し、満八年を迎えようとしております。私は、町長に就任して以来、「公正・公平で民主的な町政」「清潔・誠実な町政」「世代を

超え、町民の知恵と経験を生かし希望をもてる町政」の三つの政治姿勢を基本に、金武町が抱える諸問題に正面から立ち向かい、解決に向けて全力を傾けてまいりました。

町政運営にあたっては、「希望の持てるまちづくりと一緒に考え、町民参加型の町政を推進し、共に考え行動すること」を常に念頭に置き、町民の声に耳を傾け、同じ目の高さで思い合えるまちづくりを目指し、各種施策に取り組んできました。

昨年は、政権交代という社会の大きな変革があり、地方自治を取り巻く環境も大きな転換期を迎えております。私は、このような状況の中で、金武町の明るい未来をつくるため、また次代を生きる子供たちのために強い信念と決意を持って行動していくことをここにお誓い申し上げます。これまで私が掲げてきた重点プランについて述べてまいります。

はじめに、社会福祉については、制度の大幅な改正や変革があり、児童・高齢者・障害者等を取り巻く環境も大きな変化がありました。

その中で、児童福祉については、本町独自の施策として乳幼

児医療費の助成を十五歳の義務教育終了後まで入院・通院ともに無料としたほか、一人十万円の子育て激励金の支給、一人三万円の虫歯予防奨励金の支給など保護者の経済的負担の軽減を図りました。また、放課後児童健全育成事業を実施し、子育てのしやすい環境づくりに取り組みました。さらに、認可外保育所の支援については、町立保育所との格差が生じないよう、児童の健康診断や教材費、給食食材費等を支援しました。

高齢者福祉については、配食サービスや緊急通報システム事業、住宅改造成事業等を実施するとともに、地域包括支援センターを開設し、高齢者が地域で安心して生活できるよう体制づくりに努めました。さらに、後期高齢者医療制度においては、高齢者の経済的負担の軽減を図るため、保険料に係る均等割分を補助しました。

障害者福祉については、居宅生活支援事業や精神障害者デイケア等を実施するとともに、障害者が安心して自立した生活が送れるよう就労支援事業や相談事業など様々なサービスの充実を図りました。

町民の健康づくりについては、

疾病予防及び健康づくりの観点から、四十歳未満の基本健康診査、四十歳から七十四歳までの特定検診、七十五歳以上の基本健康診査について自己負担分を無料としました。また、新型インフルエンザにおける重病化予防のため、国が定める接種優先者に対し、ワクチン接種に係る費用を補助しました。

二つ目に、教育の振興については、各種支援教育者を配置するとともに、教育の情報化に対応するため電子黒板やパソコン等のＩＴ設備の充実を図りました。また、耐震基準に満たない学校施設については、児童・生徒の安全を確保するため、施設的设计・工事を行っています。

教育環境における国際交流については、金武中学校とハワイカポレイ中学校で姉妹校提携を結び、両校の相互交流を実施しております。

青少年の健全育成については、金武町青少年健全育成連絡協議会を立ち上げ、地域の子供を地域で守り育てる環境づくりに取り組みました。

文化の振興については、県内外の優れた伝統芸能を鑑賞する機会を提供するとともに、文化祭やしまくとうば大会などを開

催し、地域文化の活性化を図りました。

三つ目に、生活環境の整備については、環境衛生の向上と河川や海の自然環境を保全することを目的に屋嘉地区農業集落排水事業及び並里・金武地区農業集落排水事業を実施しており、供用開始に向けて事業を推進しています。

町道の整備については、児童・生徒の登下校の安全確保を図るため、町道金武一一号線改築事業を実施したほか、各区の町道についても計画的に事業を推進してきました。その結果、平成二十年度現在で九二・一％の舗装率となっております。

町営住宅の整備については、中川第三団地や屋嘉第二団地、並里団地の建設により、若年層等の定住化を促進しました。

海岸整備については、波浪や台風時の高潮による災害を防ぐため、高潮対策事業として伊芸区及び屋嘉区の海岸を整備しました。

四つ目に、農林水産業の振興については、農業基盤の整備として県営屋嘉地区かんがい排水事業及び屋嘉小浜原かんがい排水事業を実施しており、農業用水の確保に取り組んでいます。

また、喜瀬武原かんがい排水事業を実施するとともに、並里地区かんがい排水事業については、事業採択に向けて取り組んでいるところであります。

農業の振興については、北部振興事業を活用して平張施設の整備を図るとともに、農産物の安定的な生産と供給ができるよう経営構造対策事業による花卉温室施設やパイン生産施設、マングロー生産施設などの整備を実施しました。

林業については、特用林産物ぶなしめじ生産施設や木材加工施設を整備し、町の産業の活性化を図るとともに、造林事業を推進し森林保護と水源涵養機能の向上に取り組んでいます。

水産業については、水産基盤整備として漁礁の設置やもずく荷役作業ホイスツ設置、魚類養殖試験施設等を整備し、作り育てる漁業を推進しました。

畜産業については、家畜ふん尿の適正処理と有効活用を図るため、金武町堆肥センターの建設を推進してきました。また、バイオマスタウン構想については、農林水産省等で組織するバイオマス・ニッポン総合戦略会議において地域指定を受けており、同センターを中心とした循環

環型社会の実現に向けて取り組んでおります。

五つ目に、雇用の場の確保については、特用林産物ぶなしめじ生産施設の整備やネイチャーみらい館の開館に伴い、新たな雇用の場の確保を図りました。また、地元に立地する企業や基地内従業員等への町民の優先雇用について、関係機関へ働きかけを行いました。本年度供用開始予定の特産品加工施設においても、町民優先の雇用を図っていきます。

六つ目に、町民参加によるまちづくりについては、協働によるまちづくりを推進するため金武町町政基本条例を制定し、町政運営に関する基本的事項を定めました。また、同条例を具現化するため、町長室隣りにユニタクルームを設置し、町内の各種団体等との意見交換を行いました。さらに、町内で行われる地域環境美化やイベント等の地域づくりに活用できるようふるさと創生事業の交付要綱を改正し、住民が自ら行うまちづくり活動等へ支援しました。

七つ目に、行財政改革については、効果的で質の高い行政サービスを実現するため金武町行政改革大綱及び集中改革プラ

ンに沿った改革を推進しました。また、基金の運用状況等の内容を精査し、効果的な運用と基金の有効活用を図るため基金の統廃合を実施しました。

八つ目に、情報公開及び個人情報保護については、平成十七年四月一日より金武町情報公開条例及び金武町個人情報保護条例を施行しております。情報公開については、町民の皆様と情報を共有するため職員名簿の配布をはじめ、ホームページや広報等で町の事業等を積極的に公開しました。また、個人情報保護については、個人の権利を保障し、尊厳の維持と町民生活の安定のため、同条例の運用の徹底を図りました。

以上、重点プランを申し上げましたが、昨今の目まぐるしい社会情勢の変化に加え、長引く不況や景気低迷に伴い、町民は生活に不安と不満を感じていることを肌で感じています。そのような状況下で、町民の生活を守ることは我々の責務だと考えています。本町では、町民の生活水準の維持・向上と経済的負担の軽減を図るため町民税を一〇％減税し、町民が安心して生活できる環境を整えていきます。私が町長に就任してから、町

民の皆様から多くの貴重なご意見・提言等をいただきました。それを町政に反映できたのは町民の皆様はもとより、議員各位のご理解とご協力があったからこそだと思えます。これまでの皆様方のご協力に心から感謝を申し上げるとともに、これから謙虚に、誠実にそして信念をもってまちづくりに邁進していく所存でございます。

以下、平成二十二年度の予算・主要施策について、順次ご説明申し上げます。

## 平成二十二年度予算

国において、平成二十二年度は地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が落ち込み、財源不足が過去最大の規模に拡大するものと見込んでいます。

一方で、国の「平成二十二年度予算編成の基本方針」においては、地域主権の確立に向けた制度改革に取り組むとともに、地域に必要なサービスを確実に提供できるよう、地方財政の所要の財源を確保することで、住

民生活の安心と安全を守るとともに地方経済を支え、地域の活力を回復させていくこととしております。

平成二十二年度の地方財政規模は、八二兆一、三〇〇億円程度で、対前年度比〇・五％の減となっており、地方交付税については、対前年度比六・八％の増、臨時財政対策債は、対前年度比四九・七％の増となっております。

本町の平成二十二年度予算編成においては、国の地方財政計画の動向を踏まえ、町における事業の妥当性・必要性・有効性・効率性等を念頭に置き、効果的な事業実施に努めていきます。

予算額については、

一般会計

七、七一、三九五千円  
特別会計

二、一〇一、四八六千円

(特別会計内訳)

金武町有線放送電話事業特別会計  
二五、三二八千円

金武町国民健康保険事業特別会計

一、九五三、七二四千円



金武町後期高齢者医療特別会計

一二二、〇八五千円

金武町老人保健特別会計

三、五九千円

合 計

九、八一二、八八一千円

となり、平成二十一年度に比べ一般会計で一・三二%の増、特別会計で〇・八六%の減、合計では、〇・八五%の増となっています。

## 主要施策の説明

### 「心のふれあう

### 健康福祉のまちづくり」

#### (健康づくりの充実)

町民の健康づくりについては、健康増進に寄与するため各區で実施する集団健康診査を引き続き実施していくとともに、個人で受診する個別健康診査については、受診できる医療機関を拡充し受診率の向上に努めます。

また、健康診査の結果を基に有所見者に対する保健指導及び二次健康診査の充実・拡大を図り、生活習慣病の予防に努めます。

現在実施しているすこやかライフサポート事業において、健康管理システムの端末を各地区公民館に設置し、町民が身近に健康管理ができるよう支援を強化していきます。

虫歯予防奨励金の支給については、保護者の虫歯予防に対する意識の向上が図られ、虫歯のない乳幼児が着実に増えております。今後も乳幼児からの健康づくりの一環として引き続き実施していきます。

インフルエンザ等の感染症の発生については、その予防啓発を強化するとともに、新たな感染症の発生がある場合には、町民の生命を守る立場から積極的な対応を行っていきます。

#### (医療制度について)

本町では、町民の経済的負担を軽減するため基本健康診査、特定検診の自己負担分を無料としており、今後も、同制度の周知徹底を行いながら医療費の抑制に努め、受診率の向上を図ります。

また、後期高齢者医療制度については、平成二十一年度から実施している保険料の均等割分の補助を引き続き実施するとともに、高齢者に対し同補助制度の周知を図っていきます。

#### (福祉の充実)

児童福祉については、安心して子育てができるよう乳幼児医療費助成事業を引き続き実施するとともに、子育てで奨励金についても保護者の経済的負担の軽減を図るため引き続き実施します。また、各地区公民館で実施している放課後児童健全育成事業についても、子どもの居場所づくりや共働き世帯等を支援するため引き続き実施するとともに、子育てに関する相談体制の充実と情報の場を提供するため、地域子育て支援センターを拠点とした支援体制の充実に努めます。

町立保育所については、1月に供用開始された金武保育所において待機児童の解消に努めるとともに、町立保育所・幼稚園運営のあり方検討部会において、今後の町立保育所の民営化を含めた基本方針の策定に向けて取り組んでいきます。認可外保育

所の支援については、新すこやか保育事業により児童の健康診断や教材費、給食食材費等の支援を実施しており、すべての園児が等しく健やかに育つよう引き続き支援していきます。

高齢者福祉については、高齢者及びその家族が地域で安心して生活できるよう地域包括支援センターの機能強化を図り、高齢者福祉サービスの適切な情報提供及び相談事業等の充実に努めます。また、寝たきり予防として各區で実施している介護予防事業については、現在実施しているすこやかライフサポート事業が対応できるよう連携し、同事業の充実に努めていきます。

障害者福祉については、障害者自立支援法の見直しに伴い障害福祉サービス等に係る利用者負担の軽減を図り、障害者及びその家族を支援していきます。また、就労支援事業において、障害者の就労支援指導と雇用の場の確保に努め、社会参加と自立支援ができるよう推進していきます。

## 「健やかで薰り高い 教育文化のまちづくり」

### (教育の振興)

町の教育行政については、家庭における教育費の経済的負担の軽減と子育て支援を図るため、幼稚園における入園料及び保育料を無料とします。また、幼稚園及び小学校、中学校に三人以上の園児・児童・生徒を有する保護者に対し、三人目以降の学校給食費を補助し、すべての子どもたちが健やかに育つよう支援していきます。併せて、共働きの家庭等を支援する施策として、幼稚園における預かり保育を実施します。

学力向上の推進については、子どもたちと接する時間を多く持ち、よりきめ細かい授業が進められるよう小・中学校の三十五人以上の学級に町費負担による学習支援等非常勤講師を配置します。また、基礎学力の向上や生徒指導の充実・強化を図るため外国人英語指導助手、教育相談員等を適宜学校へ配置します。さらに、発達課題等のある

園児・児童・生徒がその種別に応じ適切な指導及び支援が受けられるよう、嘉芸小学校と金武中学校に特別支援学級が新設されることになっており、今後も引き続き特別支援学級の充実を図ります。

教育施設の整備については、ICT整備事業等で導入した電子黒板の操作講習会や教材研究等を実施し、さらなる情報教育の充実に努め学力の向上を図ります。また、嘉芸小学校管理・特別教室棟建設工事については、基本設計において学校関係者やPTA、地域有識者等と建設内容について協議を行い、実施設計に反映できるよう取り組んでいます。

生涯学習については、町立中央公民館及び各地区公民館等が連携し、地域に根ざした生涯学習を推進するとともに、若者や団塊世代へ魅力ある講座を開催していきます。また、講座終了後にはサークル活動の立ち上げを支援し、発表の場を設けるなど活気のある公民館づくりに努めます。町立図書館においては、読書を通して親と子どもが絆を育くめるよう、幼児期から本に親しむ意識づくりを図っていきます。



▲改修工事が予定されている伊芸区民グラウンド

スポーツの振興については、スポーツ施設の整備として、伊芸区民グラウンドの改修工事を実施するとともに、町営グラウンドの全天候型整備に向けて関係機関と調整していきます。また、本年度完成が予定されている野球場施設を活用し、野球人口の拡大と技術の向上を図るとともに、スポーツによる地域活性化に繋がるよう取り組んでいきます。

七月二十八日から本町で開催される全国高等学校総合体育大会フェンシング競技については、

選手・役員八〇〇人余りが参加する予定であることから、各種団体等と連携し円滑な競技運営を進めていくとともに、大会開催に向けて町民への意識の高揚を図っていきます。

青少年の健全育成の推進については、金武町青少年健全育成連絡協議会の活動として、あいさつ運動及び下校時パトロールを実施し、児童・生徒の登下校時の安全確保を図ります。また、生活リズムの確立を目的とした夜間パトロールを引き続き実施し、深夜はいかによる青少年の事件・事故を未然に防ぐとともに、町全体で青少年の健全育成に取り組めるよう学校・地域・行政が一体となった事業を展開していきます。

国際交流の推進については、海外移住者子弟等研修生受入事業を引き続き実施するとともに、町の青年等を海外に派遣し各国町人会並びに海外との交流を通して相互交流のできる人材を育成するため、金武町青年海外派遣事業を実施します。



## 「水と緑の豊かな環境のまちづくり」

### (生活環境・基盤の整備)

道路整備については、町道金武一三二号線整備工事、町道屋嘉六九号線整備工事、町道伊芸二六号線整備工事等を実施し、地域の利便性と環境整備を図ります。また、屋嘉区前田川及び伊芸区美徳川の歩道橋の設置に



▲町道金武132号線整備工事予定地

については、公民館へのアクセスや利便性、安全な地域環境づくりを考慮した橋梁設置に向けて調査業務を実施します。その他、未整備の道路及び行き止まり道路については、段階的に整備を進めていきます。

河川整備については、老朽化による崩壊、近隣田畑への被害を未然に防ぐため、美徳川改修工事における実施設計を行います。

公園整備については、平成二十一年度に伊芸海浜公園が完成しており、町民に親しまれる海浜レクリエーション施設として地域と連携し、維持管理に努めていきます。

上水道の整備については、老朽管の更新として金武地区及び並里地区配水管布設工事を実施するとともに、伊芸区簡易水道施設の老朽化に伴う水道施設整備を実施します。また、地震時における給水機能の維持を目的に、浄水場及び配水池の耐震基礎調査を実施します。

下水道の整備については、屋嘉地区農業集落排水事業を引き続き実施し、本年度は処理施設内の機械施設整備を行います。

また、並里・金武地区農業集落排水事業については、処理施設

建設工事に着手するとともに、同地区西側で計画されている二期についても本年度より事業を実施します。

住居表示の見直しについては、制度導入に向けて実施地域の状況把握や課題の整理等を行うための基礎調査を実施します。

## 「楽しく暮らせる安心のまちづくり」

### (環境衛生・消防・防災対策)

環境衛生については、ごみの排出抑制及び資源ごみの分別を徹底するとともに、不法投棄防止のパトロールを引き続き実施し、地域環境の保全を図っていきます。

墓地関係については、各地区における墓地の現状把握や課題を明確にするための基礎調査を実施しており、調査を踏まえ、墓地の散在化や景観の悪化等を防ぐため墓地基本計画を策定します。

一般廃棄物最終処分場及び焼却施設の建設については、引き続き金武地区消防衛生組合と連

携しながら建設を推進していきます。

防災対策については、チリ大地震による津波災害対策を活かし、各地区の避難方法や避難場所等について再検討します。また、津波警報や緊急地震速報等を瞬時に伝達するシステムとして、全国瞬時警報システムを整備するとともに、防災行政無線についても、整備に向けて国の補助先と協議していきます。

災害等が発生した場合を想定した食料や備品等については、今後も引き続き備蓄・整備を進めていきます。

### (基地関連について)

米軍演習に起因する騒音や基地被害については、今後も調査や監視を続け、関係機関等と連携しながら対応していきます。

また、米軍人、軍属による事件・事故等については、国や県及び関係市町村等で組織するワーキングチーム等において引き続き協議を重ね未然防止に努めていきます。さらに、町民が安心・安全な生活ができるよう、日米両政府に対して基地の負担軽減と日米地位協定の抜本的な見直しを訴え続けていきます。

## 「豊かな活力のある 産業のまちづくり」

### (農林水産業の振興)

農業の振興については、新規就農者や担い手農家に対し、農業技術・経営ノウハウ等の実施研修の場や農業機械の受託など農業者のニーズに応じた総合的な支援体制の構築を図るため、

担い手農家支援プログラム策定調査を実施します。また、農薬用ビニール等の廃プラスチック処理の助成については、環境負荷の低減を図る観点から、関係団体と連携しながら継続的に実施していきます。

金武町堆肥センターにおいては、高品質な有機系堆肥を活かした土づくりを推進していくとともに、特用林産物ぶなしめじ加工施設から排出される廃床活用による循環型農業を促進し、「有機の里金武町」を目指して環境にも人にもやさしい安心・安全な農作物の生産を図っていきます。

田芋・水稻については、生産拡大と経営安定を図るため、新

たに実施される米戸別所得補償モデル対策事業等の周知を図りながら、より多くの生産農家が同事業を活用できるよう努めていきます。

さとうきびについては、国の交付金制度の要件緩和により、これまで実施してきた共同防除が認められ交付要件を満たしておりますが、引き続き反収の向上・増産に向けて、収穫作業後の株出し管理や補植作業を推進していきます。

野菜及び果樹については、施設栽培を中心に収量と品質の向上に努め、安心・安全な農作物のブランド化を図っていきます。琉球紅茶については、栽培技術の向上を図り、生産農家の育成に努めていきます。

農業基盤の整備については、県営屋嘉地区かんがい排水事業において、管路工事を引き続き実施するとともに、屋嘉小浜原かんがい排水事業においては、貯水池の工事を実施します。喜瀬武原地区及び並里地区かんがい排水事業については、土地改良区内の排水路の整備を順次実施していきます。また、農業集落排水事業及び土地改良事業は、国の事業仕分けによる事業費削減があり、供用開始の時期が遅

れることが予想されますが、町としては、早期に供用開始ができるよう努めていきます。

畜産業については、優良種の導入と飼育技術による農家の所得向上に努めるとともに、家畜排泄物の不適切な管理を改善するよう指導を徹底していきます。

水産業については、大型定置網を設置し、水揚げ高の向上を図りながら、セリ業務の活性化に繋がるよう努めていきます。また、稚魚の放流等による作り育てる事業を推進するとともに、青年漁業士や漁業指導士の育成に取り組みます。

林業の振興については、特用林産物ぶなしめじ加工施設の運営充実を引き続き図っていくとともに、森林保護と水源涵養機能の向上を図るため、屋嘉区において造林事業を引き続き実施していきます。

町営苗畑施設については、草花類の生産性を向上させるため播種設備を整備し、地域や各種団体等へ苗配布・普及に努め、緑豊かなまちづくりを推進します。

### (商工・観光業の振興)

商工・観光業の振興については、町商工会との連携を図り地域商品券事業や空き店舗対策による商店街の活性化を図っていきます。

特産品加工施設については、公益性と採算性を両立させるための運営管理会社を立ち上げ、運営の充実を図るとともに、特産品の付加価値向上と生産者の所得向上に努めます。

ネイチャーみらい館については、供用開始から三年目を迎えて着実な集客が図られています。

今後は、修学旅行の生徒などを対象とした民泊事業等を促進するとともに、利用者のニーズに応えるための取り組みや地域の資源を活かした体験プログラムの実施に努めていきます。また、地域の若者等が関われる体制づくりを推進し、雇用の創出や地域活性化を図っていきます。

地域活性化事業については、地域住民や団体等と協力して、地域資源や金武アクティブパーク等の活用を図りながら、本町の特色を活かした音楽、スポーツ、観光関連の事業を推進していきます。

雇用対策については、国の地



域雇用創造推進事業の活用による総合窓口の設置、人材育成のための各種講座及び研修等を実施していきます。

失業対策事業については、町単独事業による町内環境美化をはじめ、補助金を活用した農道清掃業務、農道草刈業務、観光・自然体験プログラム強化事業、有機農法推進事業、子育て支援センター委託、障害者就労継続支援事業、高齢者介護予防事業委託等を実施するとともに、駐留軍等労働者をはじめその他事業所等への町民の優先雇用の要請を行っていきます。

また、昨今の厳しい経済状況等を踏まえて、商工観光、雇用・失業対策等に対応するため、執行体制の充実を図っていきます。

### 「まちづくりを 推進するために」

本町のまちづくりの基軸である第四次金武町総合計画前期基本計画が本年度をもって最終年度となっており、引き続き「心豊かな明るい健康文化のまち」を目指して、後期基本計画の策定に取り組んでいきます。

また、平成十三年度に策定された第三次金武町国土利用計画が本年度をもって最終年度となっており、総合計画との整合性を図りながら同利用計画の策定に取り組んでいきます。

行政改革については、効率的で質の高い行政サービスを実現するため、金武町行政改革大綱に沿った改革を推進するとともに、平成二十三年度から平成二十七年度までの新たな行政改革大綱の策定を国・県の動向を注視しながら進めていきます。

地方分権については、政権が変わりこれまで以上に権限委譲が進められることが予想されています。それに伴い、困難な課題にも積極的に取り組む能力・資質が求められることから、職員を対象に計画的な研修を実施し、業務に対する専門性を高め、公務員としての資質の向上に努めていきます。

事務執行体制については、年々増大する住民ニーズ、国・県からの権限委譲、事務事業の増加及び投資的事業へ対応するため、事業の進捗、課内の予算・条例等の管理などの業務を一元化し円滑な行政運営を推進するため主幹を増設します。

## 町政発展のための展開

億首ダム建設については、本体工事が昨年三月から開始されており、本年度は、ダム建設に伴う町道金武二二三号線等の周辺整備が着手される予定となっています。町としては、平成二十四年度の供用開始に向けて北部ダム事務所と連携しながら、同ダム建設を促進していきます。

国道金武バイパスについては、町道一一一号线と交差する中学校付近から渡慶頭原の区間が本年度工事完了の予定となっています。町としては、北部国道事務所と連携しながら、早期開通を促進していきます。

電線共同溝整備事業については、次期無電柱化推進計画として、金武給油所付近から金武町役場前付近までが計画区間となっています。本年度は、実施設計が行われる予定となっていることから、住民説明会を随時開催し、町民や事業所の要望が反映されるよう関係機関と連携し、同事業を進めていきます。

ギンバル訓練場跡地利用計画については、地主のご理解のもとに用地買収がほぼ終了する予

定となっています。今後は、移設作業の進捗状況と並行しながら地域医療施設、リハビリ関係施設、道路等の基本設計及び実施設計業務等を引き続き実施するとともに、関係機関や民間企業との調整を綿密にして跡地利用を推進していきます。

## おわりに

以上、平成二十二年度の町政運営の基本方針並びに主要施策の概要を説明いたしました。私は、これからの金武町の更なる発展に向けて、職員とともに自ら先頭に立ち、町民と協働のものと事業の推進に全力を尽くしてまいります。議員各位をはじめ、町民の皆様の一層のご理解、ご協力をお願い申し上げ、平成二十二年度の施政方針といたします。

平成二十二年三月九日  
金武町長 儀武 剛